



新春を迎えて

財団法人 日本ソフトテニス連盟
会長 海部 俊樹



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、平成21年の新春をすがすがしくお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、米国サブプライムローン問題に端を発した株価の急落、石油価格の乱高下等様々な社会情勢から生活不安に襲われ、百年に一度という世界的な金融不安に包まれた激動の年でありました。スポーツ界においては、北京オリンピックでの日本選手団の活躍に多くの感動を覚え、あらためてスポーツの持つ純粋さ素晴らしさを実感できたものとなり、また、多くの競技で十代のトップアスリートの躍進が見られ明るいニュースとなりました。

我がソフトテニスにおいても、長期基本計画2007の重点課題として、平成18年度から導入した「競技者育成プログラム」(一貫指導システム)を、積極的に全国で推進していただいております。その結果、全日本選手権大会において30年振りの大学生チャンピオンの誕生や、高校生の上位入賞等ソフトテニス界においてもジュニア層の活躍が顕著に現れ、一定の成果をあげることができました。

昨年韓国で開催されたアジア選手権においても、世代交代の時期となり厳しい戦いとなった日本選手団において見事女子ダブルスで金メダルを獲得するなど、競技者育成プログラムの「発掘・育成・強化」事業が着実に実を結び始めているものと思えます。

導入から3年を経過した同プログラムを、今年度はさらに改善を行う中で指導マニュアルの充実、指導体制の整備等、ますます強力に推進してまいります。

これらの施策を支える基幹制度である会員登録制度も、小・中学生の有料化時は一時的に登録数の減少が見られましたが、皆様のご協力のおかげで年々定着してきており、徐々に会員登録数も増加しています。この会員登録制度において昨年よりIT利用による会費納付システ

ムを導入し、実務担当者の皆さんの負担の軽減や現金授受のトラブル解消、会費の照合作業の効率化等を図りました。この結果様々な作業の効率化や会費の早期決済につながり、会費のより効率的な活用ができるようになりました。さらに、今年度より会員登録システムの運用の拡大を図り、審判、技術等級資格認定のシステム化を実施して関係者の作業効率向上に努めてまいります。

また、有料化から4年を経過し階層別の検証と特に中学生から高校生に移った時の急激な部員減少の要因の分析等を行い、愛好者が中学、高校、大学、社会人と継続してソフトテニスをするための環境作りを重要課題として検討を進めてまいります。

競技力向上に関しては、世界No1の実力を維持する為の戦略研究、特にシングルの強化対策を強力に推し進めなければならないと考え、国内の大会への導入検討を進めてまいります。また、同時に大会運営マニュアルを策定し、大会運営の画一化と効率化を進めてまいります。

そして、何より昨年テレビ放映に代わるものとして、他の競技団体に先んじて運用を開始したホームページ活用による動画配信「ソフトテニスTV」を開局しました。

日本連盟はもとより、各支部のご協力のもとほぼ全支部においても支局として「ソフトテニスTV」を開局することができ有効な映像活用が可能となりました。

また、新たに本年2月より、携帯電話専用ホームページの開局も予定しており、時代に即したより有効な広報活動を推進してまいります。

国際普及活動としては、世界への普及活動の継続をはじめ、今年は、世界大会等の大きな国際大会の開催はありませんが、念願であったジュニアの世界大会にあたる第1回国際ジュニアソフトテニス大会をアジア連盟の主催により日本で開催する運びとなりました。日本チームの活躍と大きな成果を期待しています。

また、ソフトテニスのアピールと普及をめざして今年のはじめて開催するソフトテニス週間の全国的なイベントも成功させなければなりません。

皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成20年度 各層の全日本チャンピオン

大会名	男子	女子		
全日本小学生選手権	新子 徹・星野慎平(奈良)	T・Mクラブ	西岡真里華・藤本奈津美(奈良)	奈USJ
全国中学校選手権	石塚祐成・大津育人(山形)	鶴岡第一中学校	山納直美・根岸香奈(埼玉)	杉戸中学校
全国高校選手権	中山陽司・杉尾卓馬(和歌山)	和歌山北高等学校	奥村すずな・嘉数美玖(福岡)	中村学園女子高等学校
全日本学生選手権	世利卓史・越智大輔(学連)	同志社大学	澤邊好美・刀裨彩子(学連)	日本体育大学
全日本社会人(一般)	松口友也・望月大輝(東京・静岡)	ヨネックスクラブ・明電舎	杉本 瞳・森原可奈(兵庫・岡山)	東芝姫路
全日本社会人(成年)	石橋孝一・花井伸幸(京都)	京都市役所	寺田祥子・山形扶美代(三重・大阪)	五十鈴クラブ・ファニークラブ
全日本シニア	45 上松明裕・大橋元司(岡山)	岡山市役所・岡山県教員クラブ	五味絹代・久富貴美代(奈良・大阪)	アドバンス・堺レディース
	50 藤原潔志・西 康宏(岡山)	岡山市役所・岡山南高クラブ	宮崎早苗・鈴木帝子(熊本・大阪)	松橋クラブ・吹田クラブ
	55 木本正之・金沢秀夫(神奈川・東京)	湘南クラブ・国分寺クラブ	藤原芳子・柳下久美子(東京)	府中ソフトテニス・鶴川クラブ
	60 倉田基康・田中榮明(岡山)	岡山南高クラブ	大川京子・今西敏子(群馬・埼玉)	市原榮ティー・千葉クラブ
	65 大淵保夫・高橋邦彦(埼玉)	川口市勤労者・上福岡クラブ	高羽邦子・水越富士子(大阪)	堺レディース・高槻ソフトテニスクラブ
	70 吉田 浩・大滝正榮(茨城)	水戸クラブ・日立クラブ	和田洋子・住友康江(兵庫)	宝塚クラブ・すずらんクラブ
75 古正文男・橘川 寛(神奈川)	日本スポーツマンクラブ	福田久恵・明井一子(大阪・京都)	枚方市ソフトテニス連盟・京都女子クラブ	

第6回 アジアソフトテニス選手権大会(2008/韓国・聞慶市)



女子ダブルス 優勝 上原 絵里・平田 清乃ペア



団体戦 第2位 日本男子チーム



団体戦 第2位 日本女子チーム

男子ダブルス 第2位 中堀 成生・高川 経生

男子シングルス 第2位 篠原 秀典

平成20年度 天皇賜杯皇后賜杯 全日本選手権大会優勝者



写真提供：ベースボールマガジン社

鹿島 鉄平・塩崎 弘騎(早稲田大学)ペア 佐々木 舞・堀越 敦子(NTT西日本広島)ペア

2009ナショナルチームメンバー

【男子】		【女子】	
監督	千葉 松戸市役所	監督	中本 裕二 広島 NTT西日本広島
コーチ	上松 明裕 岡山 岡山市役所	コーチ	井口 鉄郎 宮崎 スマッシュイグチ
トレーナー	川上 晃司 兵庫 スポーツインテリジェンス(株)	トレーナー	高川 亜紀 広島 日城整形外科クリニック
選手	鹿島 鉄平 学連 早稲田大学	選手	佐々木 舞 広島 NTT西日本広島
	塩崎 弘騎 学連 早稲田大学		中川 静香 東京 ナガセケンコー
	塩崎 友也 学連 東京 ヨネックスクラブ		阿部 悠梨 東京 ナガセケンコー
	望月 大輝 学連 静岡 明電舎		杉本 瞳 兵庫 東芝姫路
	中堀 成生 学連 広島 NTT西日本広島		森原 可奈 兵庫 東芝姫路
	高川 経生 学連 広島 NTT西日本広島		刀祢 彩子 学連 日本体育大学
	井口 雄一 学連 日本体育大学		上原 絵里 学連 日本体育大学
	土井内陽介 学連 香川 なかよしクラブ		塩崎 祐子 学連 広島 東広島
	今村 義美 学連 香川 なかよしクラブ		柴崎 由佳 学連 兵庫 東芝姫路
	玉川 裕司 学連 中京大学		安川 真璃子 学連 早稲田大学
	篠原 秀典 学連 山口県友会		大庭 彩加 学連 広島 NTT西日本広島
	菅野 創世 学連 埼玉 平田 清乃		平田 清乃 学連 東京 ナガセケンコー
	村上 雄人 学連 愛知学院大学		佐藤 那帆 学連 東京 ワタキューサンライフ
	緒方 寛和 学連 関西学院大学		田中ちひろ 学連 日本体育大学
	石川 裕基 学連 中央大学		山下ひかる 学連 東京女子体育大学
	小林 幸司 学連 東京 ミズノ		高塚みなみ 学連 京都 ワタキューサンライフ
	柴田 章平 学連 早稲田大学		
	中本 圭哉 学連 早稲田大学		
	後藤 渉 学連 愛知学院大学		

2009全日本U-18メンバー

【男子】		【女子】	
監督	小野寺 剛 東京 巣鴨学園	監督	林 三十夫 和歌山 和歌山信愛女子短大付属高校
コーチ	塩田 孝一 香川 尽誠学園高校	コーチ	石田 菜摘 和歌山 和歌山信愛女子短大付属高校
トレーナー	永野 康治 埼玉 早稲田大学大学院	トレーナー	小峯 秋二 富山 高岡西高校
選手	巽 慎也 奈良・高体連 高田商業高校	選手	二瓶 美穂 千葉 スポーツインテリジェンス(株)
	内山 陸貴 奈良・高体連 高田商業高校		榎本 有花 和歌山・高体連 和歌山信愛女子短大付属高校
	荻野 光彦 宮城・高体連 東北高校		前田 優 富山・高体連 高岡西高校
	品川 貴紀 三重・高体連 三重高校		石田 菜摘 和歌山・高体連 和歌山信愛女子短大付属高校
	稲田 浩明 岡山・高体連 岡山理科大附属高校		東海あかね 富山・高体連 高岡西高校
	善野 功太 岡山・高体連 岡山理科大附属高校		藤崎 安葉 和歌山・高体連 和歌山信愛女子短大付属高校
	高橋幸太郎 宮城・中体連 東北学院中学校		横山 花純 三重・高体連 三重高校
	佐々木恒登 宮城・高体連 東北学院中学校		近藤めぐみ 秋田・中体連 山王中学校
	松本 省吾 香川・高体連 尽誠学園高校		古川さとみ 東京・高体連 文化女子大付属並校
	岡本 悠 香川・高体連 尽誠学園高校		熊井 瞳 福岡・高体連 中村学園女子高校
	川尻鈴介 埼玉・高体連 川越東高校		山納 真希子 和歌山・高体連 日大藤沢高校
	今井 快幸 三重・高体連 三重高校		宮下 菜実 大阪・高体連 淀之水高校
	林田 和樹 奈良・高体連 高田商業高校		大槻 麗 広島・高体連 広島翔洋高校
	荒尾 大輔 奈良・高体連 高田商業高校		宮下 愛美 三重・高体連 三重高校
	荒木 翔 奈良・高体連 高田商業高校		小林 優美 新潟・高体連 巻高校
	大津 育人 山形・中体連 鶴岡第一中学校		山納 真希子 宮城・高体連 常盤学園高校
	桂 拓也 奈良・高体連 高田商業高校		横山 温香 愛知・中体連 横須賀中学校
	小栗 元貴 奈良・高体連 高田商業高校		山納 直美 埼玉・中体連 杉戸中学校
	萩原 拓磨 香川・高体連 尽誠学園高校		根岸 香奈 香取 杉戸中学校
	能口 拓磨 香川・高体連 尽誠学園高校		小林 奈央 岡山・中体連 就美中学校
	萩原 聖哉 三重・中体連 矢洲中学校		伊東 若葉 東京・高体連 文化女子大付属並校
	土井孝志朗 三重・中体連 矢洲中学校		田中 優美 宮城・高体連 常盤学園高校

2009全日本U-21メンバー

【男子】		【女子】	
監督	篠邊 保 愛知 東邦ガス(株)	監督	中本 和穂 広島 神辺旭高校
コーチ	安達 和紀 鳥取 NTTデータカスタマーサービス(株)	コーチ	原口 俊之 福岡 中村学園女子高校
トレーナー	深間内 誠 三重 鈴鹿回生病院	トレーナー	吉川友巳 広島 (株)メディウイング
選手	長江 光一 学連 早稲田大学	選手	水松 彩華 学連 日本体育大学
	山口 大地 学連 日本体育大学		水間奈津紀 学連 広島 NTT西日本広島
	森田 祐哉 学連 東北福祉大学		府藤 麻未 学連 昭和三学院短期大学
	岩崎 拓斗 学連 明治大学		中村 朱里 学連 東京 ヨネックス
	黒羽 祥平 学連 早稲田大学		川本 美佳 学連 東京 NTTドコモ四国
	今井 龍麻 学連 日本体育大学		宮代 恵実 学連 東京女子体育大学
	村田 直樹 学連 愛知学院大学		若田 淳子 学連 香川 NTTドコモ四国
	中本 貴博 学連 中央大学		江原あゆみ 学連 東京女子体育大学
	香川 直人 学連 日本体育大学		鈴木 華絵 学連 昭和三学院短期大学
	丸山 崇 学連 日本体育大学		中野 優 学連 東京女子体育大学
	中山 陽司 和歌山・高体連 和歌山北高校		奥村 すずな 福岡・高体連 中村学園女子高校
	杉尾 卓馬 和歌山・高体連 和歌山北高校		嘉敷 美玖 福岡・高体連 中村学園女子高校
	越智 大輔 学連 同志社大学		深澤 昭恵 学連 広島・高体連 広島翔洋高校
	滝屋 貴樹 学連 早稲田大学		石原 雅子 学連 広島・高体連 広島翔洋高校
	菅原 徹 学連 明治大学		杉加 彩加 学連 広島・高体連 広島翔洋高校
	泉山 翔太 学連 早稲田大学		菊川 由衣 学連 神戸松蔭女子学院大学
	荒武 光 学連 愛知学院大学		宮下 愛未 学連 兵庫 東芝姫路

2009全日本U-14メンバー

【男子】		【女子】	
監督	岡村 勝幸 山梨 双葉中学校	監督	野口 英一 東京 文化女子大付属並中・高校
コーチ	古賀 一人 佐賀 嬉野中学校	コーチ	青田 博道 鳥取 日南中学校
トレーナー	高橋 憲司 東京 帝京平成大学	トレーナー	畑田 麻美 奈良 スポーツインテリジェンス(株)
選手	今田 瑞基 岡山・中体連 岡山理科大付属中学校	選手	西村 美咲 鳥取・中体連 日南中学校
	山口 晃輝 千葉・中体連 松戸第五中学校		花 泉美 和歌山 和歌山LJCC
	塩田 頼 香川・中体連 普通寺東中学校		林 由紀子 愛知・中体連 加木屋中学校
	大海 崇志 北海道・中体連 清田中学校		藤本 千晶 愛知・中体連 加木屋中学校
	玉置 真也 三重・中体連 矢洲中学校		安生 陽奈 大阪 岸和田ジュニア
	西川 凌介 奈良 ニューウィンズ		富田 真愛 東京・中体連 文化女子大付属並中学校
	工藤 浩輔 秋田・中体連 大館第一中学校		日向 莉乃 山形・中体連 鶴岡第一中学校
	山内 雅樹 山口・中体連 勝山中学校		永井 里佳 福島・中体連 双葉中学校
	黒坂 尚 兵庫・中体連 太子東中学校		中山 美衣 奈良・中体連 大宇陀中学校
	古田 徴也 兵庫 姫路ジュニアクラブ		半谷 真香 和歌山・中体連 双葉中学校
	山口 耕平 長野・中体連 三陽中学校		渡辺 陽子 秋田・中体連 山王中学校
	青藤 鴻慈 千葉・中体連 松戸第五中学校		林田奈央美 奈良・中体連 片塩中学校
	津藤 真太 兵庫・中体連 和田山中学校		佐々木美和 石川・中体連 能都中学校
	新子 徹 奈良 T・Mクラブ		小路 彩佳 鹿児島・中体連 和田中学校
	野瀬 慎 奈良 T・Mクラブ		泉谷 朋香 大阪 岸和田ジュニア
	村田 匠 和歌山 西和中学校		山崎 和福 福井・中体連 武生第三中学校
	北谷健二郎 兵庫・中体連 福美北中学校		福松綾那香 宮崎・中体連 広瀬中学校
	西森 一貴 奈良・中体連 王寺南中学校		西岡真里華 奈良 USJ
	山本 祐輝 奈良・中体連 王寺中学校		藤本奈津美 奈良 奈良USJ
			下田 夢奈 岡山・中体連 就美中学校

平成21年度事業計画(平成21年4月～22年3月)

1. 会員登録制度の推進を図る。
 - (1)会員登録の推進
 - (2)会員登録手続きの効率化
 - (3)傷害補償制度の徹底
 - (4)会員報の発行
 - (5)登録状況の把握と改善
2. 競技力向上に関し、次の事業を実施する。
 - (1)競技者育成プログラムの推進
 - (2)ナショナルチームの強化合宿
 - (3)全日本U-14、U-17、U-20の強化合宿
 - (4)競技力向上のための海外遠征
 - (5)強化スタッフの各種大会視察
 - (6)競技力向上のための調査・研究
3. 指導者養成のために次の事業を実施する。
 - (1)全国小学生・中学生・高校生指導者の合同研修会
 - (2)指導者養成事業の推進
 - (3)指導者バンク(日本連盟)の推進
 - (4)一貫指導システム確立のための指導理念、指導法ならびに指導内容の検討
4. アンチ・ドーピングに関し、次の事業を行う。
 - (1)アンチ・ドーピングに関する啓発活動
 - (2)国内大会におけるドーピング検査の実施
5. 地域グループ育成のため、次の事業を実施する。
 - (1)ジュニア層の普及状況把握
 - (2)地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成
各支部に対して、会員登録料から下記の率により助成(一般20%、高校生10%、高専10%、中学生20%、小学生50%)。
 - (3)支部中学校大会への補助 47支部×@30,000円を助成する。
 - (4)支部レディース大会への補助 47支部×@50,000円を助成する。
 - (5)ソフトテニス週間の実施 47支部×@100,000円を助成する。
 - (6)指導者バンク(地域)の推進 47支部×@100,000円を助成する。
 - (7)総合型地域スポーツクラブの研究
6. 国内競技会を大会実施要項に基づき、別表のとおり実施する。
 - (1)平成21年度大会日程および会場
7. 大会の検討と大会運営の改善
 - (1)全日本選手権大会の検討
 - (2)全日本団体選手権大会の検討
 - (3)主催大会開催地への支援
 - (4)ゼッケンの着用
 - (5)スコアボードの検討
 - (6)主催大会における大会運営マニュアルの作成と役割分担の明確化を図る。
 - (7)スポーツ活動を通して環境保全を図る。
8. 地域等における競技会開催に、次のとおり補助を行う。
 - (1)9地区選手権大会 9地区×200,000円を助成する。
 - (2)地区高校選抜大会 9地区×100,000円を助成する。
 - (3)10地区中学選手権大会 10地区×100,000円を助成する。
 - (4)壮年東西対抗大会 200,000円を助成する。
 - (5)超壮年東西対抗大会 200,000円を助成する。
 - (6)全日本学生同好会大会 200,000円を助成する。
9. 公認審判員制度に関し、次の事業を実施する。
 - (1)マスターレフェリーの認定 (50歳以上)
 - (2)マスターアンパイヤーの認定 (50歳以上)
 - (3)1級審判員の検定会・研修会の実施
検定会2回(東西)、研修会9回(各ブロック)を開催する。
 - (4)1級審判員の認定(新規、更新)
 - (5)2級審判員の認定(新規、更新、ジュニア審判からの移行)
 - (6)ジュニア審判員の認定(小学生と中学生を対象とする)
 - (7)主要大会における派遣審判員制度の実施
 - (8)審判DVDの活用
 - (9)審判員バンクの整備
 - (10)大会マニュアル及び審判マニュアルを活用する。
 - (11)審判申請手続きのシステム化を図る。
10. 技術等級に関し、次の事業を実施する。
 - (1)名誉指導員およびマスターの認定
 - (2)技術等級の認定(大会実績、検定会)
 - (3)技術等級申請手続きのシステム化を図る。
11. 用具・施設の公認に関し、次の事業を行う
 - (1)ラケットの証紙、ネットの証書の発行
 - (2)新規公認・更新手続きの承認
12. 広報に関し、次の事業を行う。
 - (1)新聞報道の充実
 - (2)全日本選手権大会のNHKテレビ放送の継続
 - (3)機関誌「ソフトテニス」の毎月発行

- (4)ITシステムの活用とホームページの充実
 - (5)大会記録集の発行
 - (6)ソフトテニスの歌の活用
 - (7)その他の広報活動と積極的な活用を推進する。
(新聞報道を補完する媒体として携帯電話による日本連盟ホームページの開局)
13. 各種表彰を次のとおり行う。
 - (1)国内関係表彰
 - (2)国際大会入賞
 14. 国際競技大会の参加種目への招致活動及び大会運営について支援する。
 - (1)第16回アジア競技大会(広州)運営の準備
 - (2)アジアソフトテニス連盟主催 第1回国際ジュニアソフトテニス大会の日本開催
 15. 国際競技大会への代表選手団を、次のとおり派遣する。
 - (1)第1回国際ジュニアソフトテニス大会への派遣
 - (2)競技力向上を図るため各種国際競技大会へ積極的に代表選手団を派遣する。
 16. 国際普及活動を推進する。
 - (1)75カ国(地域)への普及を目標に活動を促進
 - (2)普及対象国への指導者および選手の派遣、日本への受け入れ
 - (3)ジュニア、シニア等の交流促進
 - (4)用具の提供、流通の促進
 - (5)第1回国際ジュニアソフトテニス大会を日本で主管する。(ASTF主催)
 17. 国際指導体制、審判体制の促進
 - (1)国際指導員制度(ASTF)の確立と登録促進
 - (2)国際審判員制度(ASTF)の確立と登録促進
 - (3)国際指導者バンクの創設と登録促進(普及対象国への指導者派遣)
 - (4)普及指導用諸教材の作成提供
 18. 国際組織(ISTF、ASTF)への活動を支援する。
 - (1)ISTF
 - (2)ASTF
 - (3)その他のソフトテニス組織(地域、国)
 - (4)各国の協力体制、財政基盤の確立、組織運営について検討する。
 - (5)国際大会のスケジュール年表の作成
 19. オリンピック参加に向けての環境づくりと参加実現性の検証を行う。
 - (1)現状の調査、分析、対応策の検討
 - (2)国際関係組織とのコミュニケーション促進(GAISF等)
 - (3)国際PR活動
 - (4)諸総合大会への参加、諸団体への加盟など推進
 20. 諸規程の条文整備。
 21. 新公益法人制度への対応を図る。
 22. 組織と財政の強化を図る。
 23. 長期基本計画2007に基づく課題の検討と対策の推進を図る。

一般会計収支予算

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

単位：千円

科 目	予算額
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
(1)基本財産運用収入	1,000
1.基本財産運用収入	1,000
(2)会費収入	285,700
1.支部分担金	7,500
2.会員登録料	246,000
3.維持会費	32,200
(3)事業収入	138,644
1.大会参加料	23,344
2.出版物収入	19,700
3.用具検定費	27,000
4.公認審判員収入	53,200
5.技術等級認定料	6,000
6.機関誌関係費	9,400
(4)補助金等収入	300
1.補助金収入	300
(5)協賛金寄付金収入	15,300
1.協賛金	15,000
2.寄付金	300
3.免税募金	
(6)雑収入	2,100
1.受取利息収入	100
2.広告料	1,000
3.雑収入	1,000
(7)他会計からの繰入金収入	485
一般会計	
1.募金会計	485
事業活動収入計	443,529
2. 事業活動支出	
(1)事業費支出	193,502
1.指導要領等作成費	5,000
2.審判検定会・研修会	1,700
3.地域グループ育成費	59,960
4.ソフトテニス週間イベント開催費	10,000
5.大会開催地関係費	45,492

科 目	予算額
6.地域大会補助費	4,300
7.大会役員関係費	4,500
8.その他大会関係費	1,000
9.公認審判員関係費	15,300
10.技術等級関係費	2,000
11.用具施設証作成費	1,300
12.広報活動費	37,050
13.表彰費	5,900
(2)管理費支出	140,260
1.人件費	42,760
2.会議費	14,500
3.会員登録関係費	33,500
4.IT関係費	15,000
5.一般管理費	26,850
6.運営費補助	7,650
(3)加盟費支出	930
1.加盟費	930
(4)他会計への繰入金支出	124,406
1.助成事業特別会計	101,757
2.国際特別会計	20,000
3.傷害補償制度特別会計	2,649
事業活動支出計	459,098
事業活動収支差額	△ 15,569
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	0
投資活動収入計	0
2. 投資活動支出	
(1)他会計への繰入金支出	1,500
1.職員退職積立金会計	1,500
投資活動支出計	1,500
投資活動収支差額	△ 1,500
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	0
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
IV 予備費支出	22,931
当期収支差額	△ 40,000
前期繰越収支差額	40,000
次期繰越収支差額	0

国際特別会計収支予算

(平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで)

単位：千円

科 目	予算額
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
(1) 協賛金寄付金収入	6,000
1. 協賛金	6,000
(2) 雑収入	1
1. 受取利息収入	1
(3) 他会計からの繰入金収入	20,000
1. 一般会計	20,000
事業活動収入計	26,001
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	39,400
1. 会議費	800
2. 視察費	400
3. 親善大会費	1,100
4. 普及指導費	21,000
5. 普及指導教材費	1,000
6. 用具費	2,500
7. 大会振興補助費	1,000
8. 活動促進費	1,000
9. 国際大会派遣費	600
10. 国際大会開催費	10,000
(2) 管理費支出	300
1. 一般管理費	300
事業活動支出計	39,700
事業活動収支差額	△ 13,699

助成事業特別会計収支予算

(平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで)

単位：千円

科 目	予算額
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
(1) 事業収入	3,588
1. 大会参加料	3,588
(2) 補助金等収入	47,390
1. 補助金収入	47,390
(3) 協賛金寄付金収入	11,500
1. 協賛金	11,500
(4) 雑収入	3
1. 受取利息収入	3
2. 広告料	0
(5) 他会計からの繰入金収入	101,757
1. 一般会計	101,757
事業活動収入計	164,238
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	164,238
1. 競技力向上費	149,480
2. 指導者育成事業費	5,700
3. 大会開催等関係費	9,058
事業活動支出計	164,238
事業活動収支差額	0

傷害補償制度特別会計収支予算

(平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで)

単位：千円

科 目	予算額
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
(1) 雑収入	1
1. 受取利息収入	1
(2) 他会計からの繰入金収入	2,649
1. 一般会計	2,649
事業活動収入計	2,650
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	2,500
1. 傷害補償金	2,500
(2) 管理費支出	150
1. 一般管理費	150
事業活動支出計	2,650
事業活動収支差額	0



平成21年度 大会日程並びに開催地一覧

	大会名	開催地	日 程	22年度
主 催 大 会	第16回 全日本シングルス選手権大会	埼玉県・狭山市	5月16日(土)・17日(日)	近畿
	男子第54回・女子第53回 全日本実業団選手権大会	千葉県・白子町	7月24日(金)～26日(日)	山口県
	第26回 全日本小学生選手権大会	岐阜県・岐阜市	8月6日(木)～9日(日)	北海道・東北
	第37回 全日本社会人選手権大会	岡山県・岡山市	9月5日(土)・6日(日)	関東
	第16回 JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	広島県・広島市	9月12日(土)・13日(日)	広島市
	第13回 全日本シニア選手権大会	山形県・山形市他	10月9日(金)～11日(日)	九州
	第64回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	兵庫県・三木市	10月16日(金)～18日(日)	徳島県
	第23回 日本実業団リーグ	京都府・福知山市	10月30日(金)～11月1日(日)	福知山市
	第16回 全日本クラブ選手権大会	千葉県・白子町	10月31日(土)・11月1日(日)	白子町
	第27回 日本リーグ	広島県・広島市	10月22日(木)～25日(日)	広島市
ス ポ ー ツ 業	第4回 ジュニアジャパンカップ「競技者育成プログラム(Step4)」	宮崎県・宮崎市	11月21日(土)～24日(火)	宮崎市
	第21回 都道府県対抗全日本中学生大会	三重県・伊勢市	22年 3月26日(金)～28日(日)	伊勢市
共 催 大 会	第9回 全国小学生大会	千葉県・白子町	22年 3月29日(月)～31日(水)	白子町
	第38回 ハイスクールジャパンカップ	北海道・札幌市	6月26日(金)～28日(日)	札幌市
	西日本シニア選手権大会	長崎県・長崎市	7月4日(土)・5日(日)	東海・近畿
	第64回 東日本選手権大会	埼玉県・狭山市他	7月18日(土)・19日(日)	北信越
	第63回 西日本選手権大会	鹿児島県・鹿児島市	7月18日(土)・19日(日)	東海・近畿
	全日本高校選手権大会	奈良県・明日香村	8月5日(水)～12日(水)	沖縄県
	全日本学生選手権大会	岩手県・北上市	8月7日(金)～13日(木)	
	全日本レディース大会(個人戦)	大阪府・大阪市他	8月4日(火)～6日(木)	宮城県
	第40回 全国中学校大会	宮崎県・宮崎市	8月17日(月)～19日(水)	岡山県
	第31回 全日本レディース決勝大会(団体戦)	千葉県・千葉市	8月28日(金)～30日(日)	東京都
	日本スポーツマスターズ2009	静岡県・静岡市	9月19日(土)～21日(月)	三重県
	第64回 国民体育大会	新潟県・新潟市他	9月26日(土)～30日(水)	白子町
	第22回 全国スポーツ・レクリエーション祭	宮崎県・宮崎市	10月17日(土)～20日(火)	富山県
第35回 全日本高校選抜大会	愛知県・名古屋市	22年 3月29日(月)・30日(火)	名古屋市	
国 際	第17回 日・韓・中ジュニア交流競技大会	韓国・木浦市	8月23日(日)～29日(土)	中国
	第1回 国際ジュニア大会	三重県・四日市市	12月18日(金)～21日(月)	
その他	第22回 ねんりんピック2009	北海道・岩見沢市	9月5日(土)～8日(火)	石川県